



特集
建築士のお気に入り

お客様の憧れの
住まいを形にする、
ヤマサハウスの
クリエイターといえば
建築士たち。
こだわり抜いた
建築士の自宅や、
好きなインテリアや
趣味などの
ライフスタイルに加え、
今まで設計した
自信作も紹介します。
ヤマサハウスの家づくりを
もっと身近に。



私の自信作

鹿児島市・S棟邸

LDKのある一階は壁をつくらず、階段や廊下までも一体化したワンフロアに、また、南側に大きな窓を設置することで、庭やその先の景色までも楽しめ、キッチンカウンターやキッチンフードには建具と同様の木材でカバーを施し、統一感を大切にしました。二階のご夫婦の書斎も、おふたりのこだわりをたっぷり詰め込んでいます。



設計のポイント

1

LDKと和室、階段、廊下に壁をつくらず、広々としたひとつの大きな空間に。



設計のポイント

2

玄関のある北側は、片流れの屋根なので窓の位置を揃えて外観をすっきりと演出。

建築士

清澤 英明・きよさわ ひであき

注文住宅の設計に携わって四半世紀、設計総数は約200棟。家づくりにおいては自身を「協力者」と言い、ご要望や好きなものを理解して提案し、お客様と一緒に設計を進めるスタイル。自宅の設計では「ニチハサイディングアワード」グランプリ受賞。

設計コンセプトは「別荘に暮らす」 非日常感を味わう、 心地のいい家づくり

「もともと自然が好きで、週末になると自然が多いところへ出かけていました。そんな折、ふと、どうして休日だけ？と考えました。また、以前に上司が設計した別荘に泊まったときに、こんなところで毎日生活できたらいいな」と思ったんです」と、当社の建築士・清澤英明さん。その想いをかた

ちにしたのが、「ご家族と5人で暮らす自宅です。日当たり抜群のリビングは、吹き抜けがあり大きな窓からは桜島が眺められます。また、大型ソファを置いたり、ハンモックを設置したりしたのは、よりゆったりとくつろげるように。清澤さんはここで読書をして、リフレッシュしているそうです。「あえて床下をつくらず、地面と建物を近くしています。そうすることで、家と庭の一体感が楽しめますから」という通り、リビングの前の広いお庭ではパーベキューをしたり、子どもたちがバドミントンをしたり、内と外のつながりが感じられます。住宅街にありながら、どの窓からも木々が見えるのは、まるで森の別荘のようです。

仕事の流儀

お客様には一番最初にゾーニング（区分け）の提案をします。土地の日当たりや方位、周辺環境を考慮すると、例えばリビングをどこに配置するか見えてきますので、家づくりを大きく捉えられるよう重要なことは先にお伝えしています。そのうえでお客様の求めているものや、本当に好きなものをヒアリングし、共有するところから始めます。



B	A
D	C
F	E

- A リラックスタイムはハンモックで読書。好きな作業は、リチャード・バック。
- B ご夫婦共通の趣味は生け花。お子様と一緒に花屋で、好きな花を選ぶのも楽しみ。
- C お気に入りのキッチンは、プロダクトデザイナー・深澤直人さんが手がけたもの。
- D お子様たちがダイニングで勉強をするため、ライトを追加設置。長女がセレクト。
- E 冬になると、暖炉に火を灯して暖をとる。裏庭には薪のストックがある。
- F 庭にはお子様とバドミントンも。のびのび遊べるのは、大きなお庭ならでは。

